【沿革の概要】

S22年 新制中学校発足	H13年 全国中体連スピードスケート大会参加
S22年 野付小に校舎借用 校章制定	H14年 全国中体連スピードスケート大会参加
S23年 独立校舎完成	H15年 全国中体連スピードスケート大会参加
S32年 創立10周年記念式典挙行	H16年 全国中体連スピードスケート大会参加
S32年 創立10周年記念式典挙行	H17年 全道駅伝大会男子４区区間賞
S36年 校旗制定	H18年 全国中体連スピードスケート大会参加
S38年 チカ採卵実習に参加	ニュージーランド研修生徒２名
S38年 校歌制定	H19年 全道選抜バレー大会２名参加
S41年 屋内体育館落成	全道中体連水泳・卓球・陸上大会参加
S42年 白鳥の碑建立、除幕式	H20年 全国中体連スケート大会参加
S42年 開校20周年記念行事挙行	道中体連水泳・卓球・陸上大会参加
S43年 北海道少年科学奨励賞受賞	H21年 全国中体連スケート大会参加
S44年 水産実習NHK全国放送	全道中体連水泳・卓球・陸上・駅伝大会参加
S46年 町制施行により別海町となる	H22年 全国中体連スケート大会参加
S47年 山崎・道又賞受賞	全道中体連水泳・陸上大会参加
S48年 寄宿舎完成	全道海の子作文最優秀賞・教育研究実践表彰（水産教育）
S49年 PTAより掲揚塔寄贈	H23年 全国中体連スケート大会参加
S51年 簡易水泳プール完成	全道中体連女子バレー大会参加
S52年 開校30周年記念行事挙行	全道海の子書道最優秀賞
S54年 グランドフェンス設置	H24年 全国中体連スケート大会参加
S59年 全道クリーン作戦に参加	全道中体連水泳・陸上大会参加
S62年 新校舎・屋体落成 記念式典	全道海の子書道最優秀賞
S63年 バックネット・グランド完成	H25年 全道中体連水泳・陸上大会参加
外物置（兼野球倉庫）落成	H26年 全道中体連水泳・陸上大会参加
H 元年 釧路新聞社会活動賞受賞	全道中学駅伝大会参加
H 2年 町内陸上大会男女総合優勝	H27年 全道中体連野球・陸上・卓球
H 3年 根釧地区中学校放送教育研究大会	柔道大会参加、全道中学校駅伝大会参加
会場校（授業公開）	全道海の子書道最優秀賞
H 4年 山崎・道又賞受賞	H28年 別海中学校との統合
パソコン7台導入	全道中体連陸上・卓球・駅伝大会参加
H 5年 釧路中地震により体育館被害	全道海の子書道漁村文化基金理事長賞
H 6年 根室管内教育実践表彰受賞	H29年 野付地区CS導入
H 7年 第13回北海道駅伝大会参加	全道中体連陸上・駅伝大会参加
H 8年 全道中体連卓球大会参加	日本PTA全国協議会会長賞・道PTA連合会長賞受賞
H 9年 全国中体連スピードスケート大会参加	H30年 優良PTA文部科学大臣表彰受賞
開校50周年記念式典挙行	全道中体連陸上・卓球大会参加
新コンピュータ26設置	R 元年 全道中体連陸上・卓球大会参加
H10年 全国中体連スケート大会参加	釧路教育活動賞受賞
H11年 香川県塩江中学校生徒10名来校	第9回キャリア教育推進連携表彰全国最優秀賞受賞
H12年 全国中体連スピードスケート大会参加	根室管内教育実践表彰受賞
グランド改修工事（土入れ）	

【地域の特色と生徒の実態】

本校は、「北の天橋立」と呼ばれる野付半島を有し道立自然公園に指定されている。野付半島と打瀬船は平成16年に北海道遺産に登録され、平成17年には野付半島を含む地域が「ラムサール条約登録湿地」に、平成26年12月には、「東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク」に承認されるなど自然に恵まれた地域である。また、北海シマエビ漁をはじめ、ホタテやサケの定置網漁など各種の「育てる漁業」への転換により安定し漁業が営まれ、保護者の多くが漁業を営み、漁協や水産加工業などを含めると８～９割の保護者が漁業関連の仕事に携わっている。生徒は意欲的に授業に参加しており、学年を問わず仲がよく素直で明るく、挨拶がきちんとできる生徒が多い。ふるさとキャリア教育「野付学」、全校合唱、生徒会活動、部活動には、保護者・地域から高い評価をいただいている。

【教育理念】(開校以来)

ふるさとに生きる力を育む

～生涯学習の理念に立ち、心豊かに逞しく育てる野付中学校の創造に努める～

【学校の教育目標】(昭和61年度より)

『精いっぱい努力し、逞しく生き抜く人間の育成』

- 進んで学ぶ意欲 （知）
- 助け合い、磨き合う姿勢、社会の一員としての自覚 （徳）
- 健康で明るい心 （体）

【地域と共にめざす姿】（CSで策定 平成29年度より）

みんな、野付の子　さあ、つながろう！

- ◆ あいさつのできる子
- ◆ ルールや約束を守(まも)る子
- ◆ 思(おも)いやりのある子
- ◆ 失敗を恐れず挑(ちょう)戦する子

※「アマモ」と「おもち」で覚える

【重点目標の具現化に向けた方策】

★カリキュラムマネジメントの確立 *校長・教頭中心に*

① 2つの「めざす姿」を共有する取組

② アンケートや各種学力調査等を反映させたPDCAサイクル

③ 重点化・効率化する「時間外勤務月45時間を超えない取組」

★学力の三要素を高める授業 *教務部・各教科中心に*

① 「主体的、対話的で深い学び」の実現とICTの有効活用

② NIE、読書活動、考え・議論する道徳の充実

③ 運動の楽しさを味わいながら、すべての生徒の「走力」を高める取組

★自他共栄の切磋琢磨集団 *生徒指導部・各学年中心に*

① 「行くのが楽しい」と感じる生徒自治の学校づくり

② 多様性を理解し、異なることを尊重し合う学校文化の醸成

③ 個別最適化された学びの推進と、支援体制の構築

★幼小中の効果的な連携 *幼小中交流研中心に*

① 共通テーマを設定して幼小中で行う連続性のある授業改善

② 野付小学校への乗入れ授業(音楽、英語科などの継続

★地域・家庭との協働 *学校運営協議会・ＰＴＡ中心に*

① ふるさとキャリア教育「野付学」の推進

② 地域・家庭・学校が一体となって徹底する「スイッチoff22」の取組

【研究主題】平成３０～令和２年度（３カ年継続研究２年目）

自ら進んで学びあう生徒の育成

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の構築～

☆バレーボール型授業の充実 *教師から投げられた課題に、調整力を働かせて、教え・支え・伝え・深め・学び合いながら、ラリーを展開する授業。*

授業でめざす姿

- ●「学びの土台」が構築されている生徒
- ●自分の考えを声に出して伝える生徒
- ●共感的に対話できる生徒
- ●学びをつなぎ、活用できる生徒

令和元年度

別海町立 野付中学校 学校要覧

【校章】

制定　昭和23年7月1日
考案　北道邦彦氏
色彩　いかりと鎖（黒）網（金）波（白）

網と波、いかりと鎖で野付湾の水産業、郷土の発展を表現している。清らかな海に力強くアンカーをおろして、野付中学校の生徒が育っていく。その生徒と地域ががっちりと鎖で結び合い、故郷を愛し、健やかに、力強く育つことの願いがこめられている。

【野付中学校校歌】

作詞 更科源蔵　作曲 西田直道

1 青雲遠く　輝きて
白雲清き　北の辺の
にごりを知らぬ　若き日に
誇りも高き　野付校

2 朔風荒く　猛るとも
動かぬ北の　星のごと
海の世界の　灯となりて
理想大なる　野付校

3 果てなき荒野　耕して
平和の郷土　築かんと
土に育つる　夢はるか
希望輝く　野付校

〒086－1644　野付郡別海町尾岱沼潮見町２０３番地
電話　0153－86－2019　Fax　0153－86－2063
Mail address: snotuke@b-school.jp

【 教 育 計 画 】

1　日課表

	6時間日課
職員打合せ	8:10～ 8:15
生徒登校	8:15
朝読書	8:20～ 8:30
短学活	8:30～ 8:35
1校時	8:40～ 9:30
2校時	9:40～10:30
3校時	10:40～11:30
4校時	11:40～12:30
給食準備	12:30～12:40
給食	12:40～12:55
昼休み	12:55～13:15
5校時	13:15～14:05
6校時	14:15～15:05
清掃	15:05～15:20
短学活	15:20～15:30
放課後	15:30～15:55
生徒下校	15:55～

	5時間日課
清掃	15:05～15:20
短学活	15:20～15:30
放課後	15:30～15:55
生徒下校	15:55～

2　教育課程［週授業時数配当］

区分／学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	合計
1	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

＊令和元年度 小学校への乗入れ授業　英語（～1）、音楽（～3）

3　特色ある教育活動（別紙参照）

【確かな学力と豊かな心の育成】

★「授業の約束７カ条」「授業で使う話型モデル」の活用
★バレーボール型授業　★ＮＩＥ・読書活動の推進
★考え・議論する道徳科授業　★国際理解学習
★高め合い継承する異学年交流　★ピアサポート的な活動
★地域と協働するスイッチ off22　★感動を創り出す合唱

【幼小中連携】

★幼小中交流研修会の設置　★幼小中合同避難訓練の実施
★2 部会を設置して活用する野付学校区学校運営協議会
★小学校への乗入れ授業・小中合同活動の実施と授業交流の活性化

【ふるさとキャリア教育「野付学」】

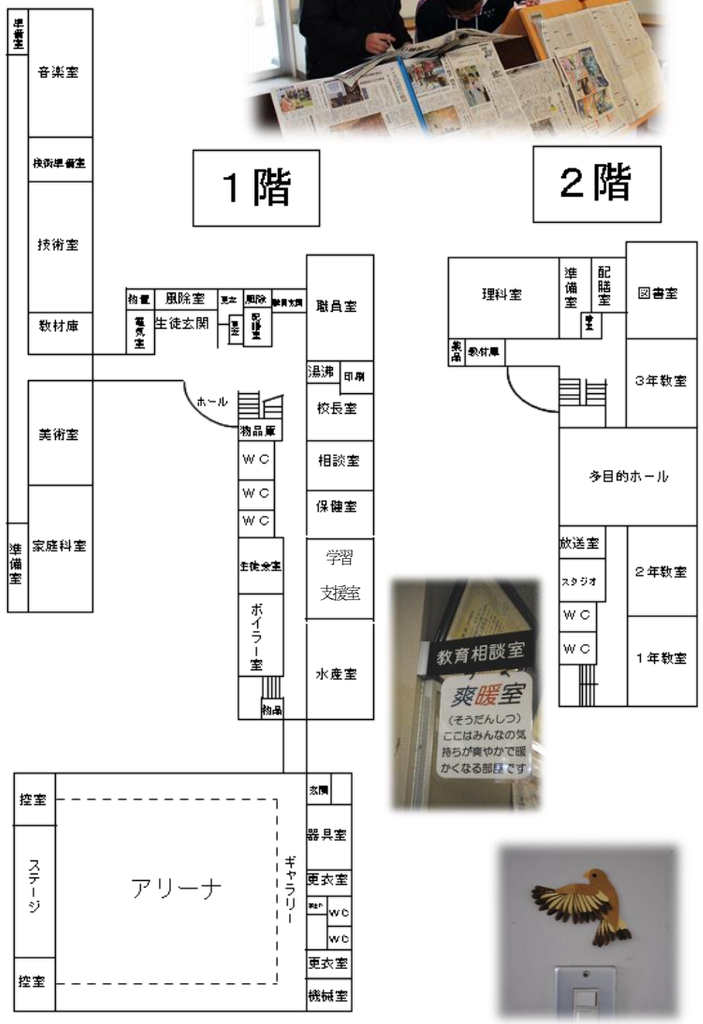
(全学年)★チカ採卵実習～野付漁協と協働する５７年目の行事
★野付半島クリーン作戦～３６年目の行事
(１学年)★郷土料理実習 ★植樹作業 ★アサリの移植 ★異世代交流
(２学年)★サケ採卵受精実習 ★北方少年少女塾参加
(３学年)★ホタテ燻製づくり ★アマモ学習 ★野付学新聞作り

【生徒数及び学級数】

［令和元年４月１日現在］

学年	男子	女子	合計	学級
1	7	7	14	1
2	5	10	15	1
3	4	7	11	1
支援学級				2
合計	16	24	40	5

【 職 員 一 覧 】

職名	氏名	学年	校務分掌	担当教科	部活動	年数
校長	A					2年目
教頭	B					1年目
教諭	C	1担	教務部	保体	バレー	1年目
々	D	1副	教務部	数学・技術	野球	7年目
々	E	1副	教務部	支援	卓球	1年目
々	F	2担	指導部	社会	陸上	5年目
々	G	2副	教務部	理科	バレー	2年目
々	H	2副	指導部	支援・美術	生徒会	1年目
々	I	3担	指導部	国語	野球	4年目
々	J	3副	指導部	音楽・家庭・小	音楽	4年目
々	K	3副	教務部	英語・小	卓球	5年目
養護教諭	L		指導部		音楽	3年目
事務職員	M		事務管理部			2年目
公務補	N		事務管理部			4年目

【校舎平面図】